

は　じ　め　に

本市は、鹿児島県の北西部に位置し、本土地域の中央部には熊本県の白髪岳を源流とする一級河川の川内川が貫流しています。平成１７年１１月には蘭牟田池がラムサール条約湿地に登録され、平成２７年３月には甕島国定公園が誕生しました。風光明媚かつ豊かな自然環境の中には、多様な生態系が構築されています。

こうした自然環境を脅かしてきたかつての産業型公害は、規制強化や人々の環境に対する意識の変化等によりある程度沈静化してきましたが、身近な事業活動や日常生活の多様化が、地球温暖化や生物多様性の損失といった地球環境問題の要因となりつつあります。持続可能な循環型社会はさることながら、低炭素にして自然と共生する社会を構築し、次の世代に引き継ぐことが、現代を生きる私たちに求められています。

本市では、平成２８年３月に「自然と共生し快適に暮らせるまち　薩摩川内」を基本理念とする薩摩川内市環境基本計画（第２期）を策定しました。また、集中豪雨や竜巻、大型台風などが全国各地で発生していること等を踏まえ、平成２９年４月には新たに災害廃棄物への対応を加えた薩摩川内市一般廃棄物処理基本計画を策定しています。

施設面では、平成２８年１２月に川内クリーンセンターの基幹的設備改良工事に着手しました。また、木場茶屋最終処分場では、廃止までの間の暫定利用として事業者による大規模太陽光発電設備が稼働するなど、有効利用も進めています。他の環境関連施設も含めて、今後とも安全管理と活用に努めてまいります。

本書は、平成２９年度における本市の環境の現況と施策の内容や実績等を取りまとめたものです。市民の皆様により一層のご理解をいただくとともに、市民・事業者・市が協働して環境の保全に向けた具体的な取組みを進めていくための一助となれば幸いです。

平成３１年２月

薩摩川内市長　　岩　切　秀　雄